



## ハムスターの飼いかたを教える

### ハムスターはネズミの仲間

ハムスターは、ヨーロッパからアジアの乾燥地帯にすんでいる尾の短いネズミの仲間、おもに夜活動し、地中に穴をほってくらしています。お店で売られているふつうのものは、ゴールデンハムスターという種類です。最近はシベリアンハムスター、ジャンガリアンハムスター、チャイニーズハムスターなど小型の種類も人気があります。

### 鳥かごや水そうで飼う

容器は鳥かご、水そうなどがよいでしょう。容器の底に新聞紙をしいて、ときどき取り替えます。運動のために、回し車などを入れます。

### 好ききらいなく何でも食べる

自然の中では果物や根、葉、こん虫など、何でも食べています。家で飼うときは、ヒマワリの種、果物、ゆで卵が好物のようです。水は2～3日に一度やります。

### けんかをよくする

ハムスターはおとなしい動物ですが、せまいところに多くのハムスターをいっしょに飼うと、仲間どうしよくけんかします。弱いハムスターは、別の入れ物に移してやりましょう。せまい場所では、自然と気があらかくなります。

### 子ども用のえさはいらない

メスがオスをいじめるようになると、子どもが生まれます。メスを別の場所で飼って下さい。1回に6～10ぴきの子が生まれます。毛がなく、眼も開いていません。母親がお乳で育てますので、子ども用のえさなどはいりません。(監修・今泉 忠明)

